

【1】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

近頃鉄道大臣官房研究所を見学する機会を得て、始めてこの大きな①インスチチュートの内部の様子をかなり詳しく知ることが出来た。名前だけ聞いたところではたいそういかめしいお役所のような気がして、書類の山の中で事務や手続きや規則の研究をしている所かと想像していたのであるが、事実はまるで反対で、それは立派な応用科学研究所であつて多数の実験室にはそれぞれA有為な学者が居て色々有益で興味のある研究をしているのであつた。

色々見せてもらったものの中で面白かつたもの一つは「鉛をかじる虫」であつた。低度のB顕微鏡でのぞいてみると、ちよつと穀象のような恰好をした鉛のようなC鼠色の昆虫である。これが地下電線の被覆鉛管をかじつて穴を明けるので、そこから湿気が侵入して絶縁が悪くなり送電の故障を起こすのだそうである。実に不都合な虫であるが、怒つてみたところで相手が虫では仕方がない。怒る代りに研究をして②防禦法を講じるD外はないであろう。

虫の口から何か特殊な液体でもだして鉛を化学的に侵蝕するのかと思つたが、そうでなくて、やはり本当に「かじる」のだそうである。その証拠にはその虫の糞がやはり「鉛の糞」だという。なるほど顕微鏡下にある糞の標本を見るとやはり立派な鉛色をしているようである。

これらの説明を聞いた時に不思議に思われたのは、鉛を食つて鉛の糞をしたのでは、いわば米を食つて米の糞をするようなもので、いったいそれがこの虫のために何の足しになるかということである。米の中から栄養分を摂取して残余の不用なものを「米とは異なる糞」にして排泄するのならば意味は分かるが、この虫の場合は全く③諷解に苦しむというより外はない。

『西遊記』の怪物孫悟空が刑罰のために銅や鉄のようなものばかり食わされたというFお伽話はあるが、動物が金属を主要な栄養品として摂取するのははなはだ珍しいといわなければなるまい。もつとも、人間にでもきわめて微量な金属が非常に必要なものであるということとは、近頃だんだんに分かりかけて来ているようではあるが、しかしそれは食物全体に対して十のマイナス何乗というような微量な量である。この虫のように自分の体重の何倍もある金属を食つて、その何④プロセントを排泄するというのは全く不思議というより外はないであろう。

何のために鉛をかじるかが疑問である。送電線の被覆鉛管の内部にどんなものはいっているか、そんなことを虫が知つていようとは思われぬから、虫の目的はやはり鉛自身にあることは明白である。それなら単なる道楽かというに、虫が道楽をするというのも受取りにくい仮説である。何かしらこの虫の生存に必要な生理的要求のために本能的にかじると考へる外はないように思われる。

こんな疑問を起こしているうちに、妙なことを⑤聯想した。

われわれが小学校中学校高等学校を経て大学を卒業するまでの永い年月の間に修得したはずの知識は、分量で測ることが出来ると思はずいぶん多量なものであらうと思われる。十七、八年の間かじりつづけ、呑み込みつづけて来た知識のどれだけのプロセントが

自分の身のG養いになつていかと考へてみても、これはちよつと容易には分かりかねる六かしい問題である。しかし、ともかくも、学校で教わつたことの少なくとも何十プロセントは綺麗に忘れてしまつていて、例えば自分等の子供に質問されて即座に明答を与えることが出来ない程度にまで意識の圏外に排泄してしまつてゐるのは事実であるらしい。

そんなに綺麗に忘れてしまふくらいならば始めから教わらなくても同じではないかという疑問が起こるとすれば、これは自分が今⑥この鉛を食う虫に対して抱いた疑問と少し似た所がある。

「知らない」と「忘れた」とは根本的にちがう。これはいうまでもないことである。しかしそれが全く同じであるとしても、忘れなかつたH僅少なプロセントがその人にとつてはもつとも必要な全部であるかもしれないのである。

世の中に工率百プロセントの器械は一つもない。注ぎ込んだエネルギーの一部は必ず無駄になつて消費される。電燈の場合などでも肝心の光になるエネルギーは消費される電力の割合にわずかな小部分で、あとはみんな不必要な熱となつて宇宙に放散する。この、物質界に行われる原理を、鉛を食う虫の場合の生理的現象に應用する訳には行かないし、⑦いわんや人間の精神現象に持ち込むべき所由はもとよりない。それにもかかわらず「無駄を伴わない滓をささない有益なものは一つもない」という言明は、どうも少なくとも一つの作業仮説として試みに使つてみてほしいように思われる。この仮説を許容するか、しないかで結果には非常な差を生じる。この仮説が真ならば、無駄をしないようにするには結局有益なことを一つもしないというより外はなくなる。また有益なことをするためには結局なるべく無駄をI沢山にするようにしなければならぬということにもなるかもしれない。しかしこの仮説が誤りであつて「無駄のない有益なものが可能であり、それが当然である」とすると、無駄は罪悪でないまでも不都合であり不都合である。従つて、そういう咎めを受けないためには、結局やはり何もしないで、じつとしてゐるのがいいことになるのである。そうなればすべての活動は停止して冬眠の状態にJ陥つてしまふであらう。それならばまだまだ安全であるが、排泄物をなくするために食物を全廃すれば餓死するより外はない。

鉛をかじる虫も、人間が見ると能率ゼロのように見えても実はさうでなくて、虫の方で人間を笑つているかもしれない。人間が山から莫大な石塊を掘りだして、その中から微量な貴金属を採取して、残りのほとんど全質量を放棄しているのを見物して、現在の自分と同じようなことをいつているかもしれない。

こう考へてみると、道楽息子でもやはり学校へやつた方がいいように思われ、分らないむずかしい本でも読んだ方がいいようであり、ろくでもない研究でも、しないよりはした方がいいようにも思われ、またこんな下らない随筆でも書かないよりは書いた方がいいようにも思われてくるのである。

(寺田寅彦『鉛をかじる虫』)

【1】

問一. 傍線部A～Jの漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二. 傍線部①の「インスチチュート」について

(1) 英語の綴りを次の中から選び記号で答えなさい。

- insutityuto
 - institute
 - inschichuto
 - instichute
- アイウエ

(2) 日本語訳として適当と思われる語を、本文中から抜き出しなさい。

問三. 傍線部②の「防禦」と傍線部③の「聯想」の漢字を現在よく使われる漢字(常用漢字)に直しなさい。

問四. 傍線部④の「プロセント」とは何か。一般的な言い方に直しなさい。

問五. 傍線部⑤の「疑問」とは、どのようなことか、本文中から60文字以内で抜き出し、その最初と最後の5文字ずつを書きなさい。

問六. 傍線部⑥の「いわんや」を別のことばで置き換えるとすれば、どれが適当か次の中から選びなさい。

- いいかえれば
- いうまでもなく
- いわゆる

【2】 次のカタカナの部分に漢字で答えなさい。

- ① 日本経済をオビヤカす
- ② トクメイで投書する
- ③ 税金をコウジヨする
- ④ カンマンな動き
- ⑤ ザットウにまぎれこむ

【3】 次の()に漢字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- ① 自()自得
- ② 馬耳()風
- ③ 自画自()
- ④ 一石二()
- ⑤ 栄()盛衰

【4】 例にならって①～⑤の意味になるように、

「足」を使った慣用句を書きなさい。(ひらがなでも可)

例 逃亡者の足取りがわかる Ⅱ 足がつく

- ① 悪い行いをやめて真面目になる
- ② 成功の邪魔をする
- ③ ためらい、しりごみをする
- ④ 予定より遠出をする
- ⑤ 出費が予算を超過する

【5】 次の作品の著者を解答群から選び記号で答えなさい。

- ① 斜陽
- ② 三四郎
- ③ 鼻
- ④ 伊豆の踊り子
- ⑤ 暗夜行路

〈解答群〉

- ア. 夏目漱石
- イ. 島崎藤村
- ウ. 志賀直哉
- エ. 芥川龍之介
- オ. 川端康成
- カ. 大宰治

【6】 次の①～⑤を目上の人に対する会話となるよう、傍線部を正しい表現に直しなさい。

- ① ひとつ聞いてもいいですか
- ② 私の考えを言います
- ③ お茶を飲みますか
- ④ 父は、まだ来ていらっしやいません
- ⑤ ご質問があれば、今うかがってください